

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	松くい虫被害対策自主事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●				●		
事業対象	町民	目的	松の枯死の原因となる松くい虫の被害を防止し、松の保全を図る。				
事業概要	松くい虫の被害防止として、健全な松に樹幹注入の実施や被害木の伐倒処理を行い、松の保全に取り組む。						

事業予算									
会計	01	款項目	05	02	01	大事業	0001 松くい虫被害対策自主事業		
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額	
	直接事業費	1,180		1,578		1,603		901	
	概算人件費	514		527		554		633	
	トータルコスト	1,694		2,105		2,157		1,534	
国庫/県支出金		567		636		647		598	
その他		0		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.14 人		536 千円				
	再任用職員		人		千円				
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円				
	その他		人		千円				
	合計				633 千円				

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 松枯れ防止剤の注入数（アンブル）	330	330	330	112	330
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 緑地の保全と緑化の促進	4.00	3.32	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☒	☐	☐	☐
必然性	☒	☐	☐	☐	☐
緊急性	☐	☒	☐	☐	☐
実効性	☐	☒	☐	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐
成果・課題等	・樹幹注入による防除や被害木の伐倒処理により、概ね町内の地区保全森林の松は保全されている。 ・近隣自治体においても枯損被害が発生しているため、引き続き松くい虫の被害防除に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	農業振興事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
		●		●	●	●	
事業対象	町民、農業者	目的	農地の担い手の育成や各種団体の育成及び協議会等への支援を推進するとともに、地元農産物の地産地消を促進し、農業の振興を図る。				
事業概要	次世代を担う農業者への支援や農林水産まつり、各種団体を通じた地元農産物の普及等を促進し、農業の振興に取り組む。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	大事業 0002 農業振興事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	3,348		2,573		2,810
	概算人件費	2,822		2,985		3,053
	トータルコスト	6,170		5,558		5,863
	国庫/県支出金	2,542		2,088		2,071
	その他	207		2		0
						179
		正規職員		0.83 人		3,211 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		0.05 人		97 千円
		その他		人		千円
		合計				3,308 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 認定新規就農者数【戦略】（人）	2	2	2	3	1
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 農林業振興の推進	3.82	2.89	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	←→			低い
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・令和2年度に認定を受けた新規就農者が人材投資資金の交付を受け営農を継続している。 ・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き新規就農者の確保に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	農業委員会運営経費			所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略
	●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	関係法令に定められた許可等の審議を適正に行うとともに、農地利用の最適化を図る。			
事業概要	農業者への啓発・情報提供、農業委員会活動の運営などを行い、農地保全や地域農業の振興を図る。					

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	01	大事業	0001 農業委員会運営経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	2,730		2,738		2,713	
	概算人件費	2,652		3,155		2,973	
	トータルコスト	5,382		5,893		5,686	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.77 人		3,007 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円		
	その他		人		千円		
	合計				3,104 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 集積面積（新規）（ha）	0.7	0.6	0.3	0.5	0.6
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

満足度

重要度

維持分野

重点維持分野

改善分野

重点改善分野

1

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	■	□	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	農地の集積には担い手の確保が必要であるため、引き続き農地の集積に並行して担い手の確保に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	農業者年金事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
		●			●		
事業対象	農業者	目的	農業経営者の農業者年金への加入促進をすることにより、老後の生活安定を図る。				
事業概要	農業者年金に加入することで、国民年金と併せて受給することができるため、啓発に努め農業者の老後の生活安定を図る。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	大事業 0002 農業者年金事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	35		35		37
	概算人件費	248		285		395
	トータルコスト	283		320		432
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	35		35		190
						33
	R 4 概算人件費	正規職員	0.08 人		333 千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	0.05 人		97 千円	
		その他	人		千円	
		合計			430 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 新規加入者数（人）	0	0	2	2	0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 農林業振興の推進	3.82	2.89	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☐	☒	☐	☐
必然性	☐	☒	☐	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☐	☒	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐
成果・課題等	農業者の生活安定を図るため、引き続き積極的な周知に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	畜産推進事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●		
事業対象	畜産農家	目的	畜産経営を維持強化するため、関係団体の育成及び補助事業等を実施する。				
事業概要	町内の畜産農家が組織している畜産会に補助金を交付し、飼育技術の向上や酪農の啓発など畜産経営の支援に努める。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	04	大事業 0001 畜産推進事業	
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	264		235		615	
	概算人件費	1,328		1,260		854	
	トータルコスト	1,592		1,495		1,469	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.26 人		901 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円		
	その他		人		千円		
	合計				998 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 飼育頭数（頭）	60	50	51	43	45
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

満足度

重要度

維持分野

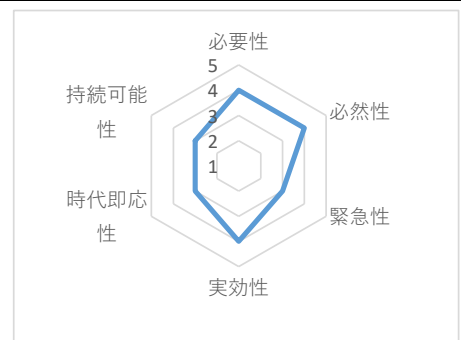
重点維持分野

改善分野

重点改善分野

1

分析					
分析の視点	高い ← 5 4 3 2 1 → 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☒	☐	☐	☐
必然性	☐	☒	☐	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☒	☐	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐
成果・課題等	・町補助金による家畜防疫や環境整備対策の支援等により、畜産経営体を維持できている。 ・新型コロナ禍における価格高騰対策として飼料及び電気料金の上昇分に対し補助を実施した。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	有害鳥獣対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	農作物を野生鳥獣から守るために、自主防除及び駆除を中心とした対策を支援する。				
事業概要	農業者や猟友会と組織した有害鳥獣対策協議会に補助金を交付し、農作物の防除に対し支援を図る。また、農業者が自己防除するために防除資材の購入費用を補助する。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	0004 有害鳥獣対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	1,152		1,766		1,228	
	概算人件費	2,993		2,865		1,661	
	トータルコスト	4,145		4,631		2,889	
国庫/県支出金		353		610		673	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.54 人		1,836 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円		
	その他		人		千円		
	合計				1,933 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 有害鳥獣の捕獲頭数（頭） 【戦略】	57	57	124	51	24
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

施策	重要度	満足度	分野
1	3.82	2.89	改善分野

分析						
分析の視点	高い ← → 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	■	□	□	□	□	
必然性	□	■	□	□	□	
緊急性	■	□	□	□	□	
実効性	□	■	□	□	□	
時代即応性	□	■	□	□	□	
持続可能性	□	□	■	□	□	
成果・課題等	・前年度と比較し、豚熱の影響かは不明だが、捕獲頭数は減少し、出没確認区域も縮小している。 ・町有害鳥獣対策協議会との連携による広域防護柵の設置、町補助金による自主防除の支援のほか、町実施隊の組織強化、県補助金による捕獲奨励により、引き続き鳥獣による農業被害の防止に努める。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	土地改良事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
		●			●		
事業対象	農業者	目的	農道の整備及び維持管理を行う。				
事業概要	農道の整備及び維持管理を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	05	大事業 0001 土地改良事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	9,260		8,852		35,710
	概算人件費	1,153		1,159		1,220
	トータルコスト	10,413		10,011		36,930
	国庫/県支出金	1,870		1,815		1,809
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.27 人		1,180 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円	
	その他		人		千円	
	合計				1,277 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 農林業振興の推進	3.82	2.89	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	■	□	□	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・計画的に護岸工事を実施するとともに、経年劣化による破損の修繕を行った。 ・費用対効果を踏まえ農道の整備・維持管理を行うとともに、引き続き必要な予算を確保し営繕を図る。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	良好	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	遊休・荒廃農地対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●			●	●	●	
事業対象	農業者	目的	遊休・荒廃農地を解消し、農地の保全に努める。				
事業概要	農業委員の業務として農地パトロールを実施し、遊休農地や違反転用などの実態があった場合には、所有者に指導等を行い農地の保全に努める。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	01	大事業 0003 遊休・荒廃農地対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	694		509		678
	概算人件費	867		1,648		924
	トータルコスト	1,561		2,157		1,602
		国庫/県支出金		485		400
						308
		その他		0		0
						794
						0
R 4 概算人件費	正規職員			0.43 人		882 千円
	再任用職員			人		千円
	会計年度任用職員			0.05 人		97 千円
	その他			人		千円
	合計					979 千円

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	遊休農地の解消面積(ha)	0	0.28	0.4	0.06	0.25
②	認定新規就農者数（人） 【戦略】	2	2	2	3	1

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	■	□	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	■	□	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・町補助金による支援により、遊休農地の一部解消及び農業経営の担い手へ農地を集約することができた。 ・全国的に担い手が不足しているため、県やJAによる支援策と連携し、引き続き遊休荒廃農地の解消、新規就農者の確保に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	ふれあい農園事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
		●		●	●	●	
事業対象	町民	目的	農地の荒廃化の防止と町民の余暇利用を促進する。				
事業概要	借地した農地を106区画に分け、町民にふれあい農園として貸し出しを行っている。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	01	03	大事業 0001 ふれあい農園事業
		R1決算額（千円）		R2決算額		R3決算額
						R4決算額
	直接事業費	201		663		210
	概算人件費	545		999		554
	トータルコスト	746		1,662		764
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	226		239		232
	R4概算人件費					
	正規職員		0.30人		536千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		0.05人		97千円	
	その他		人		千円	
	合計				633千円	

成果指標	基準値	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績
① 貸出区画数（区画）	106	104	106	106	106
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 農林業振興の推進	3.82	2.89	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	4	3	2	低い
必要性	□	□	■	□	□
必然性	□	□	■	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・全区画の適正な維持管理を図るとともに、解約となった区画を迅速に更新した。 ・引き続き利用者による適切な管理を促進するとともに、民間管理の市民農園についても管理支援に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	里山再生育成事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
					●		●
事業対象	町民	目的	山林所有者等の協力を得て、教育活動やボランティア活動による里山体験を促進し、里山の再生育成を図る。				
事業概要	里山の再生に携わる炭焼き会・竹の会、及び農業委員会等で構成した里山づくり推進協議会に補助金を交付し、里山体験として園児に田植え体験や町民対象に椎茸植菌教室を開催している。						

事業予算							
会計	01	款項目	05	02	01	大事業	0002 里山再生育成事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	344		311		236	
	概算人件費	1,633		1,148		754	
	トータルコスト	1,977		1,459		990	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		17	
R 4 概算人件費	正規職員	0.30 人		779 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		97 千円			
	その他	人		千円			
	合計				876 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 里山体験回数（回）	2	1	0	2	3
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	農林業振興の推進	3.82	2.89
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

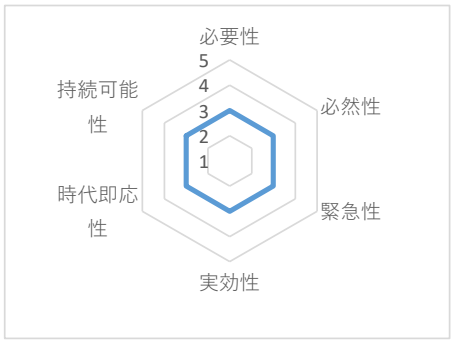
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

施策番号	重要度 (X)	満足度 (Y)	分野
1	3.82	2.89	改善分野

分析						
分析の視点	高い ← 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☐	☒	☐	☐	
必然性	☐	☐	☒	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	・里山づくり推進協議会との連携による各種の里山体験学習・教室を実施し、里山の再生育成を図った。 ・里山づくり推進協議会との連携により、引き続き体験学習用地（田んぼ）の保全に努める。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	水産振興事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●	●		
事業対象	漁業者	目的	二宮町の水産業の振興を図る。				
事業概要	大磯二宮漁業協同組合や広域的に漁業者の育成や水産資源の保全などの活動をしている団体に補助金を交付し、水産業の振興を図っている。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	03	01	大事業 0001 水産振興事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	295		295		295
	概算人件費	238		329		554
	トータルコスト	533		624		849
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
		正規職員		0.14 人		536 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		0.05 人		97 千円
		その他		人		千円
		合計				633 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 漁業体験回数（回）	—	1	0	1	0
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 水産振興の推進	3.85	2.83	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	大磯二宮漁業組合の支援継続により、漁業者の育成など水産業の振興に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	漁港整備事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
	●				●		
事業対象	漁業者	目的	漁港の整備及び維持管理を行うことで環境を保持し美化に努める。				
事業概要	漁港区域内に設置している漁港保全施設及び海岸保全施設の維持管理を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	05	03	02	大事業 0001 漁港整備事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	6,446		8,560		3,476
	概算人件費	871		805		804
	トータルコスト	7,317		9,365		4,280
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	815		813		538
						525
	R 4 概算人件費	正規職員		0.23 人		831 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		0.05 人		97 千円
		その他		人		千円
		合計				928 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	水産振興の推進	3.85	2.83
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	□	■	□	□
必然性	■	□	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	□	■	□	□
時代即応性	□	□	■	□	□
持続可能性	□	□	■	□	□
成果・課題等	・漁港区域内の草刈りや漂着物等のごみ処理委託、養浜等工事を実施し、適切な維持管理を図った。 ・海岸利用者等による不法投棄については看板等による周知啓発を図りつつ、引き続き適切な維持管理に努める。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価(庁内)	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	特産物普及奨励事業（農業再生事業）				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
		●		●	●	●	
事業対象	農業者	目的	二宮町の特産品である落花生、湘南オリーブを普及奨励し、農業再生の一助とする。				
事業概要	落花生とオリーブの生産農業者に補助を実施し、生産意欲の向上を図り、町の特産品として生産量を確保する。						

事業予算									
会計	01	款項目	05	01	03	大事業	0003 特産物普及奨励事業（農業再生事業）		
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額		R 4 決算額	
	直接事業費	963		362		146		148	
	概算人件費	2,262		2,382		1,909		1,800	
	トータルコスト	3,225		2,744		2,055		1,948	
国庫/県支出金		0		0		0		0	
その他		0		0		0		0	
R 4 概算人件費		正規職員		0.71 人		1,703 千円			
		再任用職員		人		千円			
		会計年度任用職員		0.05 人		97 千円			
		その他		人		千円			
		合計				1,800 千円			

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① オリーブの生産量(t)【戦略】	1.1	1.1	1.09	1.41	1.29
②					

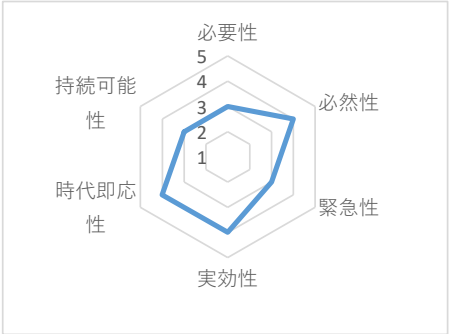
町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	特産品の普及と二宮ブランドとの連携	3.81	3.03
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い ← → 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☐	☒	☐	☐	
必然性	☐	☒	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☒	☐	☐	☐	
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	・オリーブは農業法人による生産量が増加傾向にある。また個々の農業者には、継続的な栽培ができるよう資材等の補助を実施した。 ・講習会による栽培技術指導を図りつつ、生産体制に応じた集荷案内を行うことで、生産量の確保に努める。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	要改善
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	要改善
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	商工業振興対策経費				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
				●	●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	町内中小企業の健全な育成振興を目的とし、町商工会をはじめ、各商店の機能が十分発揮されるよう組織の育成・強化を図る。				
事業概要	町商工会と町商店連合協同組合に補助金を交付し、団体の事業の推進を支援し、各事業所の育成を振興する。						

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	02	大事業 0001 商工業振興対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
		直接事業費	11,229	105,263		124,328
		概算人件費	1,316	2,382		2,464
		トータルコスト	12,545	107,645		126,792
		国庫/県支出金	0	0		0
		その他	0	0		0
R 4 概算人件費		正規職員		0.5 人		2,365 千円
		再任用職員		人		千円
		会計年度任用職員		0.05 人		97 千円
		その他		人		千円
		合計				2,462 千円

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 町内起業・開業件数（商工会加入件数）（件）【戦略】	8（22）	9（22）	3（29）	20（34）	13（40）
② 起業相談件数（件）【戦略】	20	20	20	30	27

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 商工業の振興	3.89	2.83	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	← 高い 低い →				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☒	☐	☐	☐
必然性	☐	☒	☐	☐	☐
緊急性	☐	☒	☐	☐	☐
実効性	☐	☒	☐	☐	☐
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐
成果・課題等	新型コロナウイルスの影響に対する補助事業（第3次中小企業等事業継続支援金、プレミアム商品券）の実施や商工会、金融機関と連携し創業支援を行い、事業者への支援を図った。				

分析の視点	5	4	3	2	1
必要性	1	4	3	3	1
必然性	1	4	3	3	1
緊急性	1	4	3	3	1
実効性	1	4	3	3	1
時代即応性	1	4	3	3	1
持続可能性	1	3	4	3	1

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	中小企業金融対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●	●	●	
事業対象	町民、事業者	目的	中小企業の健全な育成を図るため、指定金融機関に資金を預託し融資制度を設け、併せて資金の利用者に対し、信用保証料及び利子の補助をする。				
事業概要	事業資金の貸付制度の運用、また貸付に伴う信用保証料や利子を補助し、 町内事業者の育成を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	02	大事業	0002 中小企業金融対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	19,904		28,265		26,360	
	概算人件費	1,910		1,432		1,789	
	トータルコスト	21,814		29,697		28,149	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		17,000		23,000		23,000	
R 4 概算人件費	正規職員	0.31 人		1,686 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.05 人		97 千円			
	その他	人		千円			
	合計				1,783 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 町融資制度利用件数（件） 【戦略】	11	21	20	11	20
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	中小企業への支援	3.82	2.88
2	起業支援	3.72	2.84
3		#N/A	#N/A
	全体平均	3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	□	■	□	□	□
必然性	□	■	□	□	□
緊急性	□	□	■	□	□
実効性	□	■	□	□	□
時代即応性	□	■	□	□	□
持続可能性	□	■	□	□	□
成果・課題等	中小企業や創業者に対し、運転資金や設備資金の融資による下支えを行い、また、利子補助制度や信用保証料補助制度により、事業支援に努めた。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	勤労者福祉対策事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●			
事業対象	町民	目的	町内在住の勤労者に対する福祉の増進と生活の安定向上を目的とし、勤労者生活資金融資預託等を推進する。				
事業概要	勤労者の生活安定を図るため、中央労働金庫と連携し、貸付制度の創設や住宅ローンの利子補助を行い、また勤労者の福祉の増進を図ることを目的とした団体に補助金を交付する。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	04	大事業	0001 勤労者福祉対策事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
						R 4 決算額	
	直接事業費	5,777		5,754		5,711	
	概算人件費	965		464		537	
	トータルコスト	6,742		5,754		6,248	
国庫/県支出金		177		291		107	
その他		5,000		5,000		5,000	
R 4 概算人件費	正規職員		0.12 人		429 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円		
	その他		人		千円		
	合計				526 千円		

成果指標		基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	湘南地区労働行政連絡協議会の開催（回）	3	3	3（書面）	2（書面）	2（書面）
②						

町民満足度調査結果（平成30年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	勤労者福祉の充実	3.83	2.80
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い ← 低い				
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☐	☒	☐	☐
必然性	☐	☐	☒	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☐	☒	☐	☐
時代即応性	☐	☐	☒	☐	☐
持続可能性	☐	☒	☐	☐	☐
成果・課題等	団体への支援や広域連携を図ることで、勤労者福祉に寄与している。融資制度については、利用者が減少傾向であるため、必要に応じた見直しなどの検討が必要になる。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	中小企業退職金共済制度補助事業				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●			
事業対象	町民、事業者	目的	町内の中小企業が雇用する従業員の福祉の向上と雇用の安定化を図る。				
事業概要	従業員の退職金を支払うために、中小企業退職金共済機構に掛け金を支払いをしている事業主に対して、掛け金の一部を補助し、従業員の福祉の向上を図る。						

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	04	大事業 0002 中小企業退職金共済制度補助事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	480		440		531
	概算人件費	670		605		537
	トータルコスト	1,150		1,045		1,068
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
	R 4 概算人件費	正規職員	0.16 人		429 千円	
		再任用職員	人		千円	
		会計年度任用職員	0.05 人		97 千円	
		その他	人		千円	
		合計			526 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 新規加入者数（人）	21	11	12	33	18
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 勤労者福祉の充実	3.83	2.80	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく
重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い
維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく
改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	4	3	2	低い
必要性	5	4	3	2	1
必然性	5	4	3	2	1
緊急性	5	4	3	2	1
実効性	5	4	3	2	1
時代即応性	5	4	3	2	1
持続可能性	5	4	3	2	1
成果・課題等	事業者への支援により、従業員の福祉の向上や雇用の安定化に結びついている。				

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			

基礎評価シート（令和4年度 実績）

予算等事業名	観光振興対策経費				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
				●		●	
事業対象	観光客、町民	目的	町の観光振興を目的とし、観光客の来訪促進を図る。				
事業概要	観光協会に補助金を交付し、菜の花ウォッチングなどを実施することで誘客を図るほか、HP等で町の魅力を発信する。また、湘南地区観光振興協議会で、湘南への誘客イベントを実施している。						

事業予算							
会計	01	款項目	06	01	03	大事業	0001 観光振興対策経費
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額	
				R 4 決算額			
	直接事業費	9,952		6,615		9,561	
	概算人件費	918		851		1,060	
	トータルコスト	10,870		7,466		10,621	
国庫/県支出金		0		0		0	
その他		0		0		0	
R 4 概算人件費	正規職員		0.19 人		947 千円		
	再任用職員		人		千円		
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円		
	その他		人		千円		
	合計				1,044 千円		

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
① 入込観光客数（人）【戦略】	550,860	550,860	498,907	497,434	561,464
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）

	該当施策	重要度	満足度
1	観光情報の発信の充実	3.87	3.23
2		#N/A	#N/A
3		#N/A	#N/A
全体平均		3.97	2.97

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析						
分析の視点	高い ← 5 4 3 2 1 → 低い					
	5	4	3	2	1	
必要性	☐	☒	☐	☐	☐	
必然性	☐	☒	☐	☐	☐	
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐	
実効性	☐	☐	☒	☐	☐	
時代即応性	☐	☐	☐	☒	☐	
持続可能性	☐	☐	☒	☐	☐	
成果・課題等	・観光協会内に検討委員会を設け、検討を重ね、観光協会は法人化に向けた準備を進めることとなった。 ・町では令和5年3月に二宮町観光まちづくり戦略を策定した。この戦略の推進に向けて観光振興策や観光協会の組織強化を促進することで、観光協会とともにまちづくりの一環として取り組んでいく。					

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性：「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	拡大・拡充
	意見			

基礎評価シート（令和４年度 実績）

予算等事業名	観光施設維持管理事業 ※				所管課	産業振興課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）		総合戦略
事業対象	観光客、町民	目的	公衆トイレ等、観光施設の維持管理を行う。				
事業概要	梅沢川、川勾地内観光用公衆トイレの維持管理を行う。						

事業予算						
会計	01	款項目	06	01	03	大事業 0002 観光施設維持管理事業
		R1決算額（千円）		R 2 決算額		R 3 決算額
						R 4 決算額
	直接事業費	1,140		1,136		972
	概算人件費	276		181		537
	トータルコスト	1,416		1,317		1,509
	国庫/県支出金	0		0		0
	その他	0		0		0
R 4 概算人件費	正規職員		0.03 人		429 千円	
	再任用職員		人		千円	
	会計年度任用職員		0.05 人		97 千円	
	その他		人		千円	
	合計				526 千円	

成果指標	基準値	R1実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績
①	—				
②					

町民満足度調査結果（平成30年度）			
該当施策	重要度	満足度	
1 観光情報の発信の充実	3.87	3.23	
2	#N/A	#N/A	
3	#N/A	#N/A	
全体平均	3.97	2.97	

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析					
分析の視点	高い	← 高い → 低い			
	5	4	3	2	1
必要性	☐	☒	☐	☐	☐
必然性	☐	☒	☐	☐	☐
緊急性	☐	☐	☒	☐	☐
実効性	☐	☐	☒	☐	☐
時代即応性	☐	☒	☐	☐	☐
持続可能性	☐	☒	☐	☐	☐
成果・課題等	繁忙期や閑散期ごとの管理を行うとともに、必要に応じた維持補修を行うことで、観光客等の利便性が確保できている。				



※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	適当	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	総合評価	適当	方向性	現状維持
	意見			